

小川 克美

狛江市における産業振興の考え方について

問 狛江市と市内金融機関との直接連携を考えた、経営セミナーなどは委託し、これによる商工会の業務負担の軽減部分を産業振興に特化するべき。

答 先進市である他自治体の事例・課題等を検証し、新たな中小企業支援の一つとして検討をしていく。

子育て支援(各種補助金)について

問 前市政で凍結されたままの私立幼稚園保育料補助金の復活と、近隣市では既に始まっている認証保育所補助金の新設を求める。

答 私立幼稚園保育料補助金については市長公約でもあり、前向きに検討する。認証保育所補助金も市長公約でもあり、前向きに検討する。



都立狛江高校横の水道局用地利活用について

問 現状の懸案事項と今後の工程について。

答 土地利用現況調査結果から都立公園化の条件である10畝をどう確保するか、どのように活用していくか等多角的に検討し、関係機関との協議に必要な構想をまとめていく。

石井 功

多摩川の利活用について

問 ①バーベキューを禁止した現在、どのような利活用をされているのか②過去に市として多摩川の利活用を検討した内容について③今後の多摩川の利活用についての考えは

答 ①スポーツや自然との触れ合い、憩いの場、いかにドレース等。②多摩川周辺整備構想等で自然散策・野外活動ゾーン、水辺の楽校等体験学習。③市民等を交えて今後検討。

公共施設の修繕について

問 ①公共施設の修繕について現在の市の対応はどのようになっているのか。②これまでは緊急的な対応であったが、財政的にも計画が必要と考えられる。

答 ①予算として持っている一定の修繕費で対応している。②老朽化した施設が多く、見直しを持った財政運営を行うためには修繕計画は必要であると考えられる。

岡村 しん

誰もが健康に暮らすことのできるまちに

問 ①大腸がん検診のクーポンの送付をふやせないか。②口コモ対策で骨粗しょう症検査を突き出した広報を③運動公園利用者の体力年齢の推移④運動公園の増設を考えてほしい。

答 ①推移を見ながら制度を構築。②さまざまな機会を捉え周知。③参加者の平均年齢が高いが平均体力年齢は低い。④既に新たな運動公園設置に向けて、検討を進めている。

(仮称)トリ狛江ジョックピングセンターについて(その5)

問 ①委員長の指摘どおり騒音の調査をして欲しいがどうか。②交通問題は50歳以上も広い範囲に影響がある。沿道の住民も近隣として発言できると思うがどうか。

答 ①調整会の内容として意見があれば測定したい。②近隣住民の範囲はまちづくり条例施行規則第3条に規定。範囲を広げる必要性については、条例改正の中で議論・検討。

宮坂 良子

高齢者福祉の充実を、介護保険の利用率の軽減、磁気ループ活用を

問 介護保険①急を要する場合の認定は早急に対応から500万円可能、ぜひ軽減を。難聴者へ③磁気ループの検討④中程度難聴者への支援を。

答 ①結果が出る前でも暫定ケアプランを作成し、迅速な対応に努めている。②金額の多寡ではなく市民全体の福祉を勘案して判断。③地域のニーズを把握の上検討。④今後検討する。

買い物難民をつくらない視点でまちづくり、オーケーストア増設を

問 ①慈恵東通りの進捗状況は。②高齢化率が市の2倍の49%にもなっている狛江団地地域で買い物難民をつくらない施策は。③オーケーストアの意向は。④まちづくりは。

答 ①今年度慈恵側の歩道等整備。②近隣住民、市、慈恵、店舗事業者それぞれの意向を勘案した環境整備模索中。③近隣での存続前提。④周辺地域の実情に合った多角的検討。

西村 あつ子

住宅リフォーム助成の継続を

問 ①ランチコンテストの評価は。②住宅リフォーム助成の今年度の実績と事業効果。③実施事業者数。④今後の効果。⑤市内共通商品券の今後の考え方。

答 ①浸透は図られている。②助成対象122件、対象工事費総額約1億3460万円、助成金総額1941万円。③市内30社。④来年度以降は調整中。⑤商工会と連携して検討する。

認証保育所と幼稚園の保育料軽減を早期に実施すべき

問 ①宮前保育園と和泉児童館の複合化はどう検討するのか。②保護者の意見を聞くべき。③認証保育所と幼稚園の優先順位。

答 ①児童青少年部と企画財政部が連携して行う。②方法等については今後検討する。③市長公約でもあり検討する。④各担当部と議論し具体的な時期及び内容を決める。

田中 智子

公共施設再編方針見直しについて、新図書館建設の真剣な検討を

問 ①「三中移転は中止」との根拠は②市民活動支援センターは早急に具体的手だてをとるべき③見直しでは新図書館建設が中止に。市民要望の強い新図書館建設の真剣な検討を。

答 ①現在旧第四小学校跡地を含む周辺のまちづくりの検討を進めているため②方向性を整理した後に考える。③図書館協議会等の意見を聞きながら図書館のあり方を考える。

誰もが安心して住めるまちづくり、障がい者施策の充実を

問 ①市営駐車場の障がい者割引の実施を②都道の開通に伴い視覚障がい者用信号機設置を③災害時の対応でオストメイト用などのトイレの備蓄を④緊急連絡用カード活用を。

答 ①料金設定、割引率、実施方法など検討中②必要性を勘案して関係機関に要請③備蓄計画の整理を行う④東京都独自でSOSカードの作成を考えているので、その中で検討。



鈴木 えつお

市長は実態をリアルにみた財政論を

問 ①市長は狛江市が夕張に比べると言ったが、毎年の事業債10億円以内でどう夕張になるのか。②矢野市政16年で借金残高はピーク時から63億円減したが、これは認めるか。

答 ①第2の夕張市にならないように、財政規律を確立していくことが私の使命だと考えている。②事実を認識するが、総合的に勘案すれば必ずしも改善したとは言えない。

火災等の危険のある空き家対策強化へ条例制定を

問 ①周辺から苦情のある空き家は市内にどのくらいあるのか。②市はどのように対応しているのか。③火災等の危険のある空き家問題を解決するため条例制定を検討すべき。

答 ①12月1日現在15件。②基本的には介入できない。管理不適正な場合で所有者等が

わかる場合適切な管理をお願いする。③現時点では予定はないが、今後必要性に応じて対応。

駒井町三丁目の多摩川の土手の道路の安全対策を

問 この道路は、道が狭く見通しも悪い中、交通量が激しくなっている。付近に新しい住宅も建ち子供たちが遊ぶ姿も見え、この道路の安全対策を早急に進めたい。

答 この区間に流入する車両に対して、区間の前後に路面表示やスピード抑制対策の立て看板等で注意喚起をしていく方向で検討。

小野寺 克己

地域でのコミュニケーションの場の場としての商店街に

問 ①商店街活性化への取り組みはさまざま部門とのコラボレーションで検討する必要性があるのか。②創業者が信頼できる支援のワンストップ化が期待されているのか。

答 ①積極的に連携し、協力体制のもと取り組む。②より充実したサービス提供をするため、商工会との連携強化を図る。

